



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 日本橋梁株式会社
 コード番号 5912 URL <http://www.nihon-kyorvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井岡 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理室長 (氏名) 渡辺 昭二

TEL 03-5859-5621

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,871	9.1	708	△18.1	679	△16.9	1,296	182.8
25年3月期第2四半期	18,216	—	865	—	818	—	458	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,306百万円 (182.3%) 25年3月期第2四半期 462百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.29	—
25年3月期第2四半期	1.87	—

平成24年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため前連結会計度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	35,202	17,449	49.6	71.23
25年3月期	39,813	16,143	40.5	65.89

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,449百万円 25年3月期 16,143百万円

平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため前連結会計度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.9	1,000	△1.1	900	△3.0	1,900	329.5	7.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	245,026,782 株	25年3月期	245,026,782 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	35,627 株	25年3月期	35,118 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	244,991,422 株	25年3月期2Q	244,991,896 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 売上高、受注高及び受注残高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策による輸出環境の改善、株式市況の回復などを背景に、企業の生産活動の回復や個人消費の堅調な推移が見られるなど、ゆるやかに持ち直しております。しかしながら、先行きにつきましては、公共事業による景気押し上げ効果も一巡することが懸念されるなど、依然として不透明な状況にあります。

公共投資関連の市場におきましては、東日本大震災の復興事業など経済対策に盛り込まれた各種公共事業の発注が進んでおりますが、当社グループがその多くを依存している橋梁業界におきましては、依然、多数の企業で受注を競い合う非常に厳しい状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループは、当第2四半期連結累計期間の発注に対応するためグループ全体で受注活動に取り組み、鋼構造物事業におきましては、国土交通省中国地方整備局「下関北バイパス 綾羅木川橋鋼上部工事」などを受注し、建設事業におきましては、内閣府沖縄総合事務局「牧港高架橋下部工(P4、P5)ニューマチックケーソン」、北海道開発局釧路開発建設部「一般国道44号 釧路町 オビラシケ川橋上部工事」などを受注しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の受注高としましては185億2千1百万円(前年同四半期比2.2%減)となりました。売上高につきましては198億7千1百万円(前年同四半期比9.1%増)となり、受注残高につきましては358億7千1百万円(前年同四半期比2.0%減)となりました。

損益面では、売上総利益は20億8千2百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益は7億8百万円(前年同四半期比18.1%減)、経常利益は6億7千9百万円(前年同四半期比16.9%減)となり、課徴金返還額5億1千万円及び訴訟損失引当金戻入額5億7千2百万円等を特別利益に計上した結果、四半期純利益は12億9千6百万円(前年同四半期比182.8%増)となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 鋼構造物事業

当セグメントにおきましては、売上高は20億2千6百万円(前年同四半期比25.8%減)、セグメント損失(営業損失)は2億4千7百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)2千6百万円)となりました。

② 建設事業

当セグメントにおきましては、売上高は178億4千4百万円(前年同四半期比15.2%増)、セグメント利益(営業利益)は9億6千4百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は352億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億1千万円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ14.1%減少し、281億7千9百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が22億1千4百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.2%増加し、70億2千3百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ28.0%減少し、125億4千7百万円となりました。これは、短期借入金が14億7千1百万円及び未払金が18億1千1百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ16.5%減少し、52億5百万円となりました。これは、訴訟損失引当金が9億7千5百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8.1%増加し、174億4千9百万円となり、自己資本比率は49.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、125億7千2百万円となり、前連結会計年度末より20億2千5百万円減少いたしました。主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は9千5百万円となりました。これは主に仕入債務の減少22億2千7百万円、訴訟損失引当金の減少額9億7千5百万円がありましたが、売上債権の減少21億6千9百万円、税金等調整前四半期純利益16億4千8百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1億3百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億3千万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は20億1千6百万円となりました。これは主に短期借入金の純減額14億7千1百万円および長期借入金の返済による支出5億4千4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年6月5日に公表いたしました「子会社における特別利益の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想数値から変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,700,715	12,656,440
受取手形及び売掛金	14,726,214	12,511,255
仕掛品	444,634	466,814
原材料及び貯蔵品	112,599	118,637
繰延税金資産	191,127	195,670
その他	2,678,295	2,241,297
貸倒引当金	△47,083	△10,902
流動資産合計	32,806,503	28,179,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,010,480	981,422
機械及び装置(純額)	672,221	698,703
土地	4,255,652	4,255,506
その他(純額)	86,363	104,222
有形固定資産合計	6,024,718	6,039,855
無形固定資産		
	35,006	38,353
投資その他の資産		
投資有価証券	703,676	712,105
破産更生債権等	713,059	748,960
繰延税金資産	4,211	4,987
その他	302,534	289,327
貸倒引当金	△776,006	△810,068
投資その他の資産合計	947,475	945,311
固定資産合計	7,007,200	7,023,520
資産合計	39,813,703	35,202,734

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,658,234	888,270
短期借入金	3,111,619	1,640,000
1年内返済予定の長期借入金	839,280	339,280
未払金	6,919,143	5,107,688
未払法人税等	195,048	381,200
前受金	1,794,006	1,749,026
預り金	1,424,247	1,098,035
工事損失引当金	1,007,050	580,851
完成工事補償引当金	107,028	142,440
その他	381,344	620,319
流動負債合計	17,437,003	12,547,112
固定負債		
長期借入金	578,270	533,630
繰延税金負債	350,623	354,910
退職給付引当金	4,064,348	4,055,066
訴訟損失引当金	1,182,734	207,130
その他	57,441	55,094
固定負債合計	6,233,418	5,205,831
負債合計	23,670,422	17,752,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	453,957	453,957
利益剰余金	14,623,461	15,920,068
自己株式	△6,695	△6,787
株主資本合計	16,070,723	17,367,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,558	82,550
その他の包括利益累計額合計	72,558	82,550
純資産合計	16,143,281	17,449,789
負債純資産合計	39,813,703	35,202,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,216,156	19,871,803
売上原価	16,083,583	17,789,464
売上総利益	2,132,572	2,082,339
販売費及び一般管理費		
役員報酬	46,503	50,745
従業員給料及び賞与	553,692	653,578
退職給付費用	40,832	43,513
法定福利及び厚生費	56,834	52,933
不動産賃借料	73,812	66,070
旅費交通費及び通信費	92,580	95,657
研究開発費	129,022	136,763
その他	273,678	274,315
販売費及び一般管理費合計	1,266,955	1,373,577
営業利益	865,617	708,761
営業外収益		
賃貸収入	1,964	20,410
スクラップ売却益	6,161	16,770
その他	56,517	27,142
営業外収益合計	64,643	64,323
営業外費用		
支払利息	83,357	46,793
賃貸原価	855	13,166
その他	27,940	33,441
営業外費用合計	112,152	93,400
経常利益	818,108	679,684
特別利益		
固定資産売却益	24,713	—
課徴金返還額	—	510,507
訴訟損失引当金戻入額	—	572,264
特別利益合計	24,713	1,082,771
特別損失		
減損損失	—	23,692
損害賠償損失	48,086	—
設備移設費用	—	40,493
原状回復費用	—	50,000
特別損失合計	48,086	114,186
税金等調整前四半期純利益	794,735	1,648,269
法人税、住民税及び事業税	339,217	358,228
法人税等調整額	△2,934	△6,565
法人税等合計	336,283	351,662
少数株主損益調整前四半期純利益	458,452	1,296,606
四半期純利益	458,452	1,296,606

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	458,452	1,296,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,371	9,992
その他の包括利益合計	4,371	9,992
四半期包括利益	462,823	1,306,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	462,823	1,306,599
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	794,735	1,648,269
減価償却費	157,483	133,891
減損損失	—	23,692
損害賠償損失	42,971	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,573	△9,282
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40,400	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25,948	△38,019
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	35,276	35,411
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△397,032	△426,199
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	5,115	△975,604
受取利息及び受取配当金	△3,513	△4,492
支払利息	83,357	46,793
固定資産売却損益 (△は益)	△24,713	—
助成金収入	△3,310	—
課徴金返還額	—	△510,507
設備移設費用	—	40,493
原状回復費用	—	50,000
売上債権の増減額 (△は増加)	1,302,863	2,169,978
たな卸資産の増減額 (△は増加)	828,969	△28,217
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,474,397	△2,227,112
その他	1,145,386	△114,471
小計	1,431,416	△185,375
利息及び配当金の受取額	3,513	4,492
利息の支払額	△82,159	△60,818
損害賠償金の支払額	△27,500	—
助成金の受取額	2,417	—
課徴金の返還による収入	—	510,507
法人税等の還付額	1,206,709	—
法人税等の支払額	△115,622	△173,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,418,775	95,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13,329	—
定期預金の払戻による収入	—	19,110
関係会社株式の取得による支出	△1,100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△112,917	△130,172
有形固定資産の売却による収入	27,500	—
敷金の回収による収入	34,695	10,425
敷金の差入による支出	△3,791	△2,638
その他	1,129	△549
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,166,714	△103,825
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,740,450	△1,471,619
長期借入金の返済による支出	△1,524,200	△544,640
自己株式の取得による支出	△27	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	216,222	△2,016,351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,468,283	△2,025,165
現金及び現金同等物の期首残高	17,032,151	14,597,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,500,435	12,572,571

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鋼構造物事業	建設事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,732,003	15,484,152	18,216,156	—	18,216,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63,270	59,525	122,795	△122,795	—
計	2,795,274	15,543,677	18,338,952	△122,795	18,216,156
セグメント利益又は損失(△)	△26,157	898,343	872,186	△6,568	865,617

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△6,568千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および連結子会社(株白石ホームズ)における発生費用などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鋼構造物事業	建設事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,026,864	17,844,939	19,871,803	—	19,871,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20,687	17,672	38,359	△38,359	—
計	2,047,551	17,862,611	19,910,163	△38,359	19,871,803
セグメント利益又は損失(△)	△247,045	964,619	717,573	△8,811	708,761

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△8,811千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および連結子会社(株白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

4. 補足情報

(1) 売上高、受注高及び受注残高の状況

I 売上高

区 分	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業	2,732	2,026	△705	△25.8	6,443
建設事業	15,484	17,844	2,360	15.2	33,195
合 計	18,216	19,871	1,655	9.1	39,638

II 受注高

区 分	前第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業	4,167	2,838	△1,328	△31.9	7,108
建設事業	14,778	15,683	904	6.1	33,868
合 計	18,945	18,521	△424	△2.2	40,977

III 受注残高

区 分	前第2四半期 (平成24年9月30日)	当第2四半期 (平成25年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (平成25年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業	6,845	6,886	41	0.6	6,075
建設事業	29,766	28,984	△782	△2.6	31,146
合 計	36,611	35,871	△740	△2.0	37,221